



株式会社クリエイトワークス（特例子会社）



「世の中の困難を希望にかえる」

三幸グループの中に5つの法人があり、学校事業、生涯教育事業、介護・保育施設事業から高齢者施設などの多岐にわたる分野に携わられている、株式会社日本教育クリエイトの特例子会社「株式会社クリエイトワークス」に取材をさせていただきました。株式会社クリエイトワークスは社会人を対象に資格取得や仕事紹介の事務作業、三幸学園の専門学校での事務作業も携わられています。

●障害者雇用の経緯

2016年11月既に障害者雇用を行っていましたが、働きやすさや配慮した環境を整える必要があるとの方針から特例子会社を設立されました。設立後は入社される方の特性に合わせ、ご本人との話合いのもと三幸本社または特例子会社に採用という形を取り、ミスマッチの軽減に努められていたそうです。現在の充実した体制を整えられるまでには、松野さんもご苦労されたようで、元々福祉の専門ではなかったことから配置転換された当初は戸惑われたとのことでした。しかし、ご本人の努力はもちろん、さらに三幸グループの強みである多岐にわたる事業があることで専門家が身近にいたことから福祉や障害者についての情報を得やすかったことや相談できる環境があったことが大きかったと話されていました。

●当事者との関り、配慮について

障害割合は精神が8割、身体・知的が各1割となっています。個々の障害や特性をオープンにすることで、「見える化」が行われています。「配慮はするが遠慮はしない」この姿勢が、チームとしての一体感やサポート体制の取りやすさを作り出されており、「障害があるから」という観点ではなく、一人の人として接する姿勢も功を奏されています。

●障害者雇用について留意していること

採用時に自己理解がどこまで出来ているのか、そのうえでどんな配慮事項が必要なのかを念入りに確認しています。

例えば体調不良となった時のセルフケアや報連相を自発的に行うことが出来るのか、また会社として支援機関との連携も大切としているため相談できる体制にあるのかを確認しているそうです。松野さんも採用する立場として、最初は何が正しく、何を基準としていけば良いのかわからず苦慮されたとのこと。しかし、障害があっても、頑張りたい気持ちを持っている人が多く、「障害があるからではなく一人の人として接すること」が大切であることを採用活動や一緒に業務をする中で気づかれたとのこと。さらにグループミッションである「世の中の人に希望を与える」を心構えとして「仕事とはプロとして対応すること」を伝え続けられ、雇用されている方々の意識定着を図られたことで、一人一人がプロとして意識を持ち、仕事に取り組んでもらえていると感じているそうです。これまでの経験を通して、特例子会社の特性に応じた配慮や誰が見ても分かる業務マニュアルのノウハウ、育成方針が世の中に定着すれば、誰もが働きやすい社会となるのではないかなと思うようになったとのことでした。

●企業としての展望

やりたいと思っていることを一緒に実現できるような職場環境作りをしていきたい、また「働きたいけど、働けない」そんな人が減り、障害者でも前向きに働くことが出来る世の中になれば良いとの思いを語ってくださいました。

●当事者の方のインタビュー

お一人目は、柳澤さん。脳血管障害を患い左半身麻痺となり、アパレル業界での立ち仕事が難しくなり退職されました。ご家族と今後についてご検討されている中で新聞記事にあった銀座で行われる「障害者雇用相談会」が目にとまり入職されました。

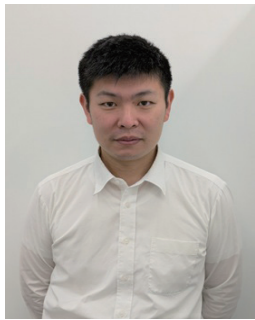


入社時には「左の視野狭窄」がある

〈柳澤さん〉

ため「声かけは右からお願いしたい」、「重い物は持てない」との配慮事項を伝えられたが、実際に働いてみると困っている人に声かけをする雰囲気があり、困ったことを抱え込まなくても良い環境であったため相談しやすく、風通しの良い会社だと感じられ、救われたとのことです。実際にPC業務は初めてでわからないことが多かったが、周りの人に教えてもらいスキルアップできたと笑顔で話されました。年長者である自分が楽しくやっていきたいとの思いがあり、皆にもそう思ってもらいたいと願われています。

お二人目は、久保木さん。前職在職中に双極性障害を発症し退職され、療養後、就職活動を行うにあたり専門家の支援を求め、自宅近くにある移行支援事業所に通われたとのことです。転職活動を行う中で、奥様が職場の本社にお勤めされており、その上司の方からのお声掛けで2週間の実習を行い、これならできると



〈久保木さん〉

自信を持つことが出来、入社を決意したそうです。通院が月に1度あり、心配もあったようですが、通院のための休暇制度もあり、負担なく安心して働き続けることが出来ているとの話がありました。症状があっても、自分で気づかない場合も周りから「〇〇じゃない？」と声掛けがあることで不調に気づくことができ、そのことも安心感に繋がっているそうです。また支援機関の担当者と3カ月に1度面談があり、個人、会社、支援機関の連携はありがたいと実感していますと緊張しながらも丁寧にお話されました。

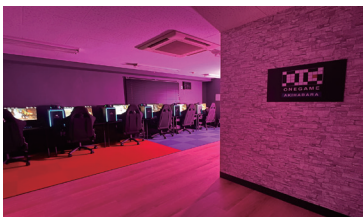
●取材を終えて

「配慮はするが、遠慮はしない」という松野さんのお言葉が印象的でした。一見強い言葉のように取ることも出来ませんが、その背景にはプロの意識を持つことをはじめとした「感謝と笑顔の輪で成長しよう!!」の会社の行動指針が誠意や熱意を持って感じられました。インタビューしたお二方からもその思いは伝わり、安心できる環境の中で一人一人が力を発揮出来ることこそが「障害があっても前向きに働くことできる世の中」の実現への近道なのだと感じる事が出来ました。(インタビュー・構成 樋口)

EVENT × NEWS

就労継続B型事業所 ONEGAME 秋葉原

ONEGAME 秋葉原はeスポーツを主軸とし、「好き」をきっかけにまずは通うことを楽しみにしてもらいたいと考えています。利用時間は10:00～15:00で、50分×4コマのスケジュールです。eスポーツを通じて社会スキルを学ぶ3つの専門コースを提供しています。①選手コース：コミュニケーション、チームワークを学習 ②イベントコース：企画力、協調性を学習 ③MCコース：言葉遣い、臨機応変さを学習。また、DM封入や動画編集などの作業、社会スキルトレーニングも実施しております。一人一人の得意なことや挑戦したい気持ちを大切に、「好き」を通じて個々の将来の道筋を一緒に見つけていくことを目指しています。ぜひお気軽に見学へお越しください。



(住所) 千代田区東神田 2-7-1 広部ミヤケビル 4階

(受付時間) 平日 9:00～17:00(土日祝休業)

(電話) 03-5829-5401 (FAX)03-5829-5402

(HP) <https://onelife-inc.com/facility/onegame-akihabara/>

(最寄り駅)

JR【秋葉原駅】昭和通り改札徒歩7分、都営新宿線【岩本町駅】A4徒歩7分

JR総武線【浅草橋駅】西口徒歩7分、JR総武線快速【馬喰町駅】4番徒歩4分



令和7年度第2回地域交流会

～雇用における障害特性の理解～

堀江車輛電装株式会社 荻野真奈美氏、認定NPO法人フローレンス 和田直美氏をお招きし、各企業の事例を織り交ぜながら障害者雇用の現状をご講和いただきました。



各社共に雇用体系や成功例・失敗例などお話をされ、質疑応答も活発に行われました。その後のディスカッションでは、会場だけでなく、オンラインの参加者からの質問も多く、一体感のある有意義な地域交流会となりました。さらに閉会後の名刺交換会は時間いっぱいまで行われ、企業・関係機関・当事者家族等が交流を図る機会を得ることが出来ました。



就労支援のお問い合わせ

電話：03-3264-2153 FAX：03-3556-1223

E-mail：chiyoda.syuroushien@city.chiyoda.lg.jp

HP：https://chiyoda.syuroushien.jp/

〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階 ホームページ QR



発行：千代田区障害者就労支援センター 第70号(令和7年11月25日発行)

取材内容：株式会社クリエイトワークス

毎回、働く障害のある方やその職場を紹介していきます。次号もご期待下さい。